平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年７月31日

上 場 会 社 名　ティアック株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　6803　　ＵＲＬ　http://www.teac.co.jp
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長（氏名）英　裕治
問合せ先責任者　（役職名）財務部長　（氏名）吉村邦彦　（TEL）(042)356-9178

四半期報告書提出予定日　平成25年８月８日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	4,576	△1.2	△599	－	△663	－	△1,061	－
25年３月期第１四半期	4,631	△22.6	△366	－	△462	－	△525	－

（注）包括利益　26年３月期第１四半期　△894百万円（－%）　25年３月期第１四半期△980百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	△3.68	－
25年３月期第１四半期	△1.82	－

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第１四半期	18,518	3,348	17.8
25年３月期	19,619	4,243	21.3

（参考）自己資本　26年３月期第１四半期　3,297百万円　25年３月期　4,185百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	－	－	0.00	0.00
26年３月期	－				
26年３月期(予想)		－	－	－	－

（注１）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無
（注２）平成26年３月期の期末配当は、業績等を考慮して決定する予定です。

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　　期	24,500	10.2	1,000	44.3	600	70.9	300	－	1.04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

４．その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ：無
新規　　ー社　　（社名）　　、除外　　ー社　　（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ：無
② ①以外の会計方針の変更 ：無
③ 会計上の見積りの変更 ：無
④ 修正再表示 ：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年３月期１Ｑ	289,317,134株	25年３月期	289,317,134株
② 期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	990,435株	25年３月期	985,824株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年３月期１Ｑ	288,327,682株	25年３月期１Ｑ	288,342,925株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○目　次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・ 2

(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・ 3
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・ 3

２．四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

(1)　四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・ 5
(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・・ 7
(4)　継続企業の前提に関する注記　・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(5)　セグメント情報等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・・11

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1)連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間のわが国経済は、昨年の政権交代を契機に、金融政策や各種政策の効果が発現し、輸出環境の改善などを背景に景気は着実に持ち直しております。一方で、世界経済を見ると、アメリカでは緩やかな回復傾向が続いておりますが、欧州では財政危機の影響もあり、総じて弱い動きとなっております。

このような状況下、当社グループは前期において光ディスクドライブ事業の改革を終え、業績の安定化から成長への転換期という折り返し点におります。しかしながら、売上高は4,576百万円（前年同期比1.2%減）とほぼ同額となりましたが、円安の影響で海外子会社の販管費が増加したことなどにより、営業損失は599百万円（前年同期営業損失366百万円）、経常損失は663百万円（前年同期経常損失462百万円）となりました。また、米国販売子会社での特別退職金の計上と単体及び国内子会社の繰延税金資産の取崩しにより、四半期純損失は1,061百万円（前年同期四半期純損失525百万円）と、赤字幅は拡大しました。

当社は、オンキヨー株式会社との業務提携をさらに推進し、音響機器事業を中心とした収益拡大と、全社的な業績の向上を目指します。また、５月９日に親会社となりましたギブソングループとの資本・業務提携内容に沿い、プロフェッショナルオーディオ事業を中心として収益拡大を目指す所存です。

参考： 在外連結子会社の連結の際の円貨への換算レート

	前第１四半期 連結累計期間		当第１四半期 連結累計期間	
	期中平均相場	決算日の直物相場	期中平均相場	決算日の直物相場
米ドル	80.18円	79.31円	98.78円	98.59円
ユーロ	102.84円	98.74円	128.95円	128.53円

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

1)音響機器事業

音響機器事業の売上高は、2,476百万円（前年同期比6.2%増）となり、営業損失は478百万円（前年同期営業損失155百万円）となりました。

高級ＡＶ機器（ＥＳＯＴＥＲＩＣブランド）は、ＳＡＣＤプレーヤーの販売は新製品の投入があった前年同期と比べ、若干減速しましたが、アンプ、輸入品は堅調に推移しました。一般ＡＶ機器（ＴＥＡＣブランド）は、欧米での販売は景気停滞もあり減速しましたが、ＰＣオーディオ関連製品が引き続き日本を中心に好調に推移しました。音楽制作オーディオ機器（ＴＡＳＣＡＭブランド）は、全世界的に好調な販売が継続、新たに投入した一眼レフカメラ用高音質レコーダーも好評を博しました。

この結果、音響機器事業全体では、音楽制作オーディオ機器事業の好調を背景に前期と比較して増収となりましたが、音楽制作オーディオ機器を主要事業と位置づけ、将来の事業拡大のために人的投資をより集中した結果、前年同期と比較して営業損失は拡大しました。

2)情報機器事業

情報機器事業の売上高は、1,743百万円（前年同期比15.3%減）となり、営業損失は145百万円（前年同期営業損失210百万円）となりました。

航空機搭載記録再生機器は、製品及び保守パーツ共に好調に推移し、前年同期に対して大幅な増収・増益となりました。計測機器は、新型データレコーダー（ＷＸ－７０００）が堅調に推移しましたが、センサーはＴＥＤＳ機能の追加で好評価を得たものの、市場の回復が見られず減収となりました。医用画像記録再生機器はＯＥＭ向け販売が落ち込みました。通話録音機器は前年並みに推移、ソリューションビジネスは増収となりました。

光ディスクドライブは、ＰＣ向けＯＥＭ販売から撤退したことにより売上高は減少しましたが、市場の変化を受けにくく、利益率の高い産業用ドライブ販売に注力したことで前年同期比で赤字幅は大きく減少しました。

この結果、情報機器事業全体では前年同期と比較して減収となりましたが、赤字幅は縮小しました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

(資産)

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、18,518百万円と前連結会計年度末と比較して1,100百万円減少しました。主な増減は、固定資産の減少126百万円、受取手形及び売掛金の減少1,740百万円、商品及び製品の増加528百万円であります。

(負債)

当第１四半期連結会計期間末における負債は、15,169百万円と前連結会計年度末と比較して206百万円減少しました。主な増減は、支払手形及び買掛金の増加242百万円、短期借入金の減少208百万円、賞与引当金の減少115百万円であります。

(純資産)

当第１四半期連結会計期間末における純資産は、3,348百万円と前連結会計年度末と比較して894百万円減少しました。主な増減は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少1,061百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は（以下「資金」という）、前連結会計年度末と比較して306百万円増加し、3,914百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第１四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、452百万円のプラス（前年同期963百万円のプラス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、売上債権の減少額1,841百万円、マイナス要因としては、税金等調整前四半期純損失927百万円、たな卸資産の増加額491百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第１四半期連結累計期間における投資活動の結果得られた資金は、23百万円のプラス（前年同期17百万円のプラス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、定期預金の払戻による収入78百万円、マイナス要因としては、有形固定資産の取得による支出56百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第１四半期連結累計期間における財務活動の結果得られた資金は、224百万円のマイナス（前年同期69百万円のプラス）となりました。主な内訳は、マイナス要因として、短期借入金の返済による支出409百万円、プラス要因としては、短期借入れによる収入200百万円であります。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

当第１四半期はティアック アメリカ INC.での特別退職金の発生、単体および国内子会社の繰延税金資産の取崩の発生等がありましたが、それらの影響を踏まえて当期の連結業績見通しの見直しを行ったところ、第２四半期以降に見込まれるティアック アメリカ INC.での業績改善効果、固定資産売却に伴う特別利益の発生も見込まれることから、平成25年５月10日に発表いたしました平成26年３月期の連結業績予想の修正はありません。

２．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,422	4,651
受取手形及び売掛金	5,252	3,511
商品及び製品	3,381	3,909
原材料及び貯蔵品	1,262	1,368
繰延税金資産	356	229
その他	424	463
貸倒引当金	△98	△105
流動資産合計	15,001	14,027
固定資産		
有形固定資産	2,613	2,632
無形固定資産	426	439
投資その他の資産	1,801	1,642
貸倒引当金	△223	△223
固定資産合計	4,618	4,491
資産合計	19,619	18,518
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,521	1,764
短期借入金	4,468	4,259
1年内返済予定の長期借入金	30	49
賞与引当金	252	137
製品保証引当金	163	153
返品調整引当金	95	73
事業構造改善引当金	9	9
その他	1,724	1,652
流動負債合計	8,265	8,099
固定負債		
長期借入金	299	294
退職給付引当金	6,683	6,660
資産除去債務	10	10
その他	116	103
固定負債合計	7,110	7,070
負債合計	15,375	15,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	306	306
利益剰余金	1,935	873
自己株式	△107	△107
株主資本合計	8,134	7,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50	△82
為替換算調整勘定	△4,000	△3,692
その他の包括利益累計額合計	△3,949	△3,775
少数株主持分	58	51
純資産合計	4,243	3,348
負債純資産合計	19,619	18,518

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	4,631	4,576
売上原価	2,806	2,823
売上総利益	1,824	1,752
販売費及び一般管理費	2,190	2,352
営業損失（△）	△366	△599
営業外収益		
受取利息	―	0
受取配当金	3	1
為替差益	―	40
その他	38	12
営業外収益合計	41	55
営業外費用		
支払利息	44	43
持分法による投資損失	―	41
売上割引	38	―
為替差損	44	―
その他	11	35
営業外費用合計	138	119
経常損失（△）	△462	△663
特別利益		
固定資産売却益	―	0
特別利益合計	―	0
特別損失		
固定資産除却損	―	7
減損損失	―	13
特別退職金	45	194
代理店解約損	43	―
その他	2	48
特別損失合計	90	263
税金等調整前四半期純損失（△）	△553	△927
法人税、住民税及び事業税	△30	23
過年度法人税等	14	3
法人税等調整額	△12	114
法人税等合計	△27	141
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△525	△1,068
少数株主損失（△）	―	△6
四半期純損失（△）	△525	△1,061

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△525	△1,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△156	△132
為替換算調整勘定	△298	307
その他の包括利益合計	△454	174
四半期包括利益	△980	△894
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△980	△887
少数株主に係る四半期包括利益	―	△6

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△553	△927
減価償却費	124	103
減損損失	―	13
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4	6
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△86	△23
賞与引当金の増減額（△は減少）	△138	△115
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△12	△13
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△27	△23
受取利息及び受取配当金	△3	△2
支払利息	44	43
持分法による投資損益（△は益）	―	41
有形固定資産除売却損益（△は益）	0	7
売上債権の増減額（△は増加）	1,809	1,841
たな卸資産の増減額（△は増加）	△280	△491
仕入債務の増減額（△は減少）	△8	212
その他の流動資産の増減額（△は増加）	16	△22
その他の流動負債の増減額（△は減少）	75	△109
その他の固定資産の増減額（△は増加）	0	△22
その他の固定負債の増減額（△は減少）	2	0
その他	75	3
小計	1,034	519
利息及び配当金の受取額	3	2
利息の支払額	△48	△43
法人税等の支払額	△26	△25
営業活動によるキャッシュ・フロー	963	452
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	―	78
従業員に対する貸付金の回収による収入	―	0
有形固定資産の取得による支出	△41	△56
有形固定資産の売却による収入	4	0
その他	53	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	17	23
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	250	200
短期借入金の返済による支出	△166	△409
長期借入金の返済による支出	△3	△4
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△9	△10
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	69	△224
現金及び現金同等物に係る換算差額	△124	54
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	925	306
現金及び現金同等物の期首残高	4,181	3,608
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,106	3,914

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	音響機器事業	情報機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,330	2,059	4,390	241	4,631
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	2,330	2,059	4,390	241	4,631
セグメント利益又は損失（△）	△155	△210	△366	0	△366

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ＥＭＳ事業を含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　益	金　額
報告セグメント計	△366
「その他」の区分の利益	0
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△366

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	音響機器事業	情報機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,476	1,743	4,219	356	4,576
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	2,476	1,743	4,219	356	4,576
セグメント利益又は損失（△）	△478	△145	△624	25	△599

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ＥＭＳ事業を含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　益	金　額
報告セグメント計	△624
「その他」の区分の利益	25
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△599

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。